

## 平成 25 年度 第 7 回運営委員会議事録

- 日 時 : 平成 25 年 10 月 8 日 (火) 18:00~
- 場 所 : ひらかた環境ネットワーク会議 会議室 (サプリ村野新館)
- 出席者 : 伊丹、井上、末岡、竹島、田中晃、田中靖、谷口、豊高、丸井、
- 欠席者 : 鎌田、上武
- 議 長 : 田中靖 議事録作成 : 三橋
- 配布資料 : 1. 第 7 回 運営委員会議事  
2. 第 6 回 環境サポート部会議事録  
3. 第 8 回 自然エネルギー部会報告  
4. 第 6 回 まちづくり部会 議事録  
5. 第 6 回 公共交通部会 議事録 (案)  
6. 第 6 回 運営委員会議事録案  
7. <環境ネットワーク収益事業について> (豊高さん提案)

### 1. 報告事項

#### <理事長報告>

- ・新職員について

(伊丹)

10 月 1 日より下記の 2 名の職員が加わった。

環境講座「スターター及びミニ講座」	阪井 瑞希
事務職	三橋由布子

#### <事務局報告>

- ・温暖化対策事業報告

(丸井)

##### [節電コンテスト]

- ・現時点での応募者は、70~80 名程度。
- ・応募は持ち込みが約 7 割である。
- ・締め切りは 10 月末であるが、昨年と同程度の見込み。

##### [協賛金]

- ・先週末までに、ほぼ例年どおりのご協力の申し出を受けた。

##### [エコチェックシート]

- ・関西医大にエコチェックシートをおいていただけることになった。

#### <部会報告>

- ① 環境サポート部会

(田中晃)

部会報告に沿って報告がなされた。

→審議でだされた意見は、今後の参考になるので、もっと詳細に議事録に残すべきであるという意見が出された。

② 自然エネルギー部会 (井上)

資料に沿って報告がなされた他、以下の報告があった。

10月6日の青山高原風力見学会は、バス会社から、先日の台風の影響で青山高原への道が通行困難であり復旧の目途がたっていないという連絡があり、検討の結果、今回はやむなく中止とした。申込者、関係者への連絡は滞りなく終了したが、一部キャンセル料が発生した。

11月9日の見学会については、広報に掲載されたこともあり、参加申し込み者は順調に集まっている。

③ まちづくり部会 (竹島)

資料に沿って報告がなされた他、以下の報告があった。

花いっぱい運動は、末岡理事の協力でプランターが確保できた。

10/13と11/23にまちなみウォーキングを行う。まずは、会員自身が、枚方のまちをもっとよく知ろうということで、今回は、部会員だけで行うが、会員で希望があれば参加したもらう。

→ウォーキングイベントの目的を明確にすることが大切である。本団体で行う目的は、保全すべき場所を知るためであり、枚方観光ボランティアと混同しないようにすべきである。

④ 公共交通部会 (末岡)

[バススタンプラリーについて]

- ・案内チラシについて、内容がわかりにくいという指摘が、事務局からあったので、次回から見直していく。
- ・参加者に配布するおやつとして、グリコから5年間保存のビスコ缶を300個提供していただいた。こういうものがあるという事をPRしてほしいという要請があったので、できる方は持ち帰って、PRしてほしい。
- ・コトバ集めは、全部で50程度できるそうで、まだ、決定ではないが、20出来たら「黄金の名探偵」カードを発行しようと思っている。

→提出する部会議事録では、何のイベントでいつ開催されるのか等がわかるようにしてほしい。

[収益事業について]

支援金がもらえる事業として、「歩いて暮らせるまちづくり」ということで、街を点検するという事業があるが、人手がかかるため、応募するか検討中である。鎌田さんや平嶺さんのNPOで取り組まれているので、要領はわかる。支援金は複数年度認められる。

## 2. 審議事項

① エコフォーラムについて (丸井)

話し合いの結果、今年度のエコフォーラムは、「防災」をテーマとしたパネルディスカッションとすることで決定した。

### (主な意見)

- ・ エコフォーラムのポスター印刷入札の関係で、内容を今月末までに決定しないといけない。
  - デザインを本団体で行うのであれば、詳細な内容は、まだ決めなくてもいいのではないか。
  - 時期が早すぎるのではないか。
  - 印刷等も含めた形で委託してもらえないか。
  - 今年度は、もう決定事項なので、今月末までにださなければいけない。来年度については、独立して行う事なども含めて、大幅に変更したいので、早めに検討を行いたい。
- ・ 午後からの内容は、分科会にしたらどうかと考えている。各分科会で 20 名×3 で 60 名程度は見込めるのではないか。
  - 分科会にすると人が分散する。
  - 防災についてのパネルディスカッションはどうか。
  - なぜ、環境ネットワーク会議が防災を扱うのかの意味を明確にする必要がある。温暖化などの気象現象の変化に伴い世界中で自然災害が多発しているためである。異常気象などをキャッチコピーにすればいいのではないか。
  - 「防災」の方が市民の関心が高く、多数の参加が見込める。
  - 自主防災の団体が扱う内容とは違ったものにするか、その方たちにも出てもらう方がよい。
  - 少しでも多くの団体に協力してもらおうと、参加者が増える。
  - 問題点の提示をし、それについてのパネルディスカッションの方向で検討したい。
  - 枚方で一番心配な災害は何か。
  - 青年会議所にも出てもらう。
  - コーディネーターやパネラーをどうするか。
  - コーディネーターが特に重要である。
  - 予算は、最大 3 万円である。コーディネーターには、1 万円程度払う予定だが、他は、無料で行ってもらおう。
  - 予算は、なぜそんなに少ないのか。
  - 8 万円あるが、独自チラシなどの経費がかかる。
  - 今回は、市が午前中の表彰を行うことについて小学校を訪問する際、我 NPO のチラシも持っていってもらえることとなった。
  - 午前中の参加者を帰らせない工夫が必要。表彰される子どもの親は必ず来る。
  - 昼食の提供の検討が必要である。
  - 会場の都合により、販売はできない。

## ② 収益事業について

### (主な提案)

- ・ 助成金を受けることができる事業を探し応募する。
  - 申請の手続き、報告、作文などの労力がかなりかかる。
  - リコーの社員が環境活動団体に資金援助をする活動をしている。
  - 事務局で対応できる範囲で行う。
- ・ 光熱費削減の個別相談を 1 時間 3,000 円位でどうか。

- ・薪ストーブで使える木質ペレットの商品化はどうか。
  - 大阪から商品化し販売するのは、産地ブランドイメージがないことや、大阪で薪ストーブを  
 える家が少ないことなどから、難しい。
  - 他の地域でも採算がとれているところは少ない。
  - 商品化のためには、最初に資金を投入する必要があるのではないか。
  - お金を使わなくてもできるものもある。
  - 無償の労働力をあてにはちがうのではないか。
- ・出前事業を企業向けに行い有料化してはどうか。
- ・不用品を集めて必要な人に持って行ってもらう。
  - 売れ残ったものを引き取ってもらう出口を確保する必要がある。
- ・フリーマーケットの元締めならできるのではないか。
  - ここの体育館を借りて、月1回定期的に行うことを定着化させる。

(別紙 豊高さん提案資料(別紙参照)に基づく意見)

- ・何のために収益事業を行う必要があるのかという合意形成をとる必要がある。
- ・紙ごみを半減させる提案をし、削減できた分の何割かをいただく。(別紙参照)
  - 枚方市の産業廃棄物を減らすことに繋がることである。
  - 個人営業の店などを対象とする。
  - 分別することでお金になるとなれば、分別が進む。
- ・何をやるにしても提案した人は意欲があるので、その人を中心にして、提案をみんなで検証して  
 事業かすることが大切である。
  - この中でコンペをする。

(まとめ)

- ・収益事業については、継続して検討していく。
- ・まず、支援金や補助をもらうことを検討する。
- ・わがNPOにふさわしいものとする。
- ・別部隊で行うのではなく、今の活動の延長でできるものとする。

### 3. その他

NPO法人ホースフレンズの協力協賛団体(企業)に名前を掲載することについて  
 費用は発生しない。

- ホースセラピーと環境はどう関わりがあるのか。
- 当団体は、馬糞を環境に負荷をかけない処理を行い、自然農法に活かしておられることもあり、  
 協力したいという趣旨である。
- 当団体の会員になってくれるように話をしてほしい。

#### 次回運営委員会

日 時：11月12日(火) 18:00~20:00  
 場 所：環境ネットワーク会議 事務所  
 議 長：田中 晃 議事録作成：田中 靖之